

活き活きしたまち。 マッチング!!

自分にとって大事な行動と場所

活き活きした楽しい まち！ マッチング！



教育・遊学・避難

小学校は、公共施設の中でも教育機能として重要性が高い。遊学所や校庭などでも利用されている。

小竹小学校・志津小学校・井野小学校

志津北部地区 1班

- じんどう
- やすだ
- もとき
- ひらた
- おかだ

千葉大学ファシリテーター
◆ たなか、つかこし



地域の課題



地域の交流の場が少ない



移動の手段が乏しい



施設の利用スペースが少ない



違法駐車が多い

中央通り



駐輪場が多い

中央通り



駐輪場が多い

ユーカリプラザ





優先的に解決したい課題

地域の一体化
→ **たまり場**でしゃべりたい

分散した**たまり場**
→ 防災にもつながる

コンセプト

ハード

小学校の空き
スペースを利用し、
公共サービス機能提供
の場にする

ソフト

教える側の生きがいと
教えられる側のニーズ
の充実

統合

解決の具体アイデア

「小学校の空きスペースによらず相談所を設置」

マッチングシステム

- SNS上のプラットフォーム
- 対価を求めない
- ニーズに合ったもの

教え合う



分散化

- 各小学校に相談所を分散

安全面

- 小学校に交番を設置

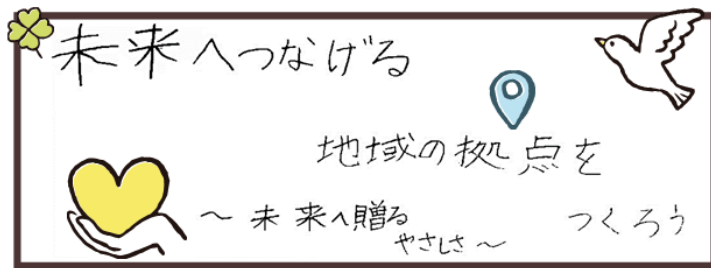
ポイント その1
地域に潜在している人材(=人財)の
活性化

ポイント その2
その「場を提供する」公共施設の
運用の柔軟化

その他アイデア

- コミュニティバスとイオンの巡回バスの連携
- モノレールの活用

移動手段を
車→バス・
モノレールへ



志津北部地区 2班

- えのもと
 - かいぬま
 - にしぐち
 - きせ
 - すなおし(ゆ)
 - すなおし(は)
- 千葉大学ファシリテーター
◆ あおいし、おとおも



自分にとって大事な行動と場所

趣味、読書 講演会や発表会などで利用できる大ホールがある。多目的グラウンドも併設されており、地域の運動会や花火の会場にもなる。 志津コミュニティセンター、多目的グラウンド	移動(通勤)・食事・美容室 ユーカリが丘駅は地域の中心。駅周辺が商業地であれば、町の発展も期待できる。 ユーカリが丘駅周辺	学習・避難訓練・選挙の投票 教育の場として大事。投票所にもなっていてコストが低いと言える。 小竹小学校
買い物 買い物や飲食と合わせて様々な目的で利用され便利(保育園、眼科、歯科、クリニックなど)。 イオンタウン ユーカリが丘	買い物、映画 映画館もあり、様々な楽しみ方、過ごし方ができる。 ユーカリプラザ (YOU!PLA)	

地域の課題

空き店舗が多い 空き店舗が多い。いいお店や本屋もない。ポテンシャルが活かされていない。 イオンタウン ユーカリが丘	公共サービスへのアクセス 毎日車で行かなければならない。 志津コミュニティセンター	図書館が使いにくい 図書館で本を借りたけど返しに行くのが大変で借りない。 図書館	子どもを遊ばせるスペースが少ない 夢や希望のようなキッズスペースが少ない。 志津北部地区
利用されていないスペース 使われていない部屋があるのにそのままにしておくのはもったいない。 北志津児童センター	駅周辺の利便性・魅力の不足 駅周辺の賑わいが不足している。あまりに静かな場所が多く、地域コミュニティの形成が阻害されている。 ユーカリが丘駅周辺	機能があっても使えない 子育て支援センターは学術的な施設ではない。 志津北部地域包括支援センター	空いている部屋が多い 使われていない部屋が多くある。 北志津公民館

優先的に解決したい課題

- いろいろな場所に公共機能が散らばっていると、移動するのが大変。
- ユーカリが丘駅周辺の商業施設は空き店舗が目立ち機能不全を起こして魅力が不足している。
- 公共施設が多くあっても、立地や運営面からそのポテンシャルが活かされていない。

解決の具体アイデア

3つの施設に公共機能を集約する

- 施設に機能を集約すれば、移動が少なくなることは多様な世代にとって使いやすく、**コストの高い施設**になる。
- 車を使う人も使わない人も便利になるように、1つの施設に集中させるのではなく、**それぞれの施設の立地、特性に合った公共機能を集約**する。
- 「志津コミュニティセンター」は大規模改修を控えているので、そのタイミングに合わせて老朽化対策だけでなく、間取りを変更する機能・用途整理を行う。畳を取り外し可能にする、移動式棚をつけるなど、**フレキシブルに使える間取りに改修**する。

コンセプト

公共サービス機能を集約し、コンパクト化

- みんなに使いやすく、集える、便利な施設を未来に贈りたい。

イオンタウンユーカリが丘

- 図書館**
ふらっと立ち寄れる場所に図書館
- 図書館併設カフェ**
図書館利用率アップ 収益を出せる
- 行政窓口**
駐車場に困らない場所にも窓口を
- 子どもが遊べるスペース**
買い物ついでに立ち寄れる
- スカイプラザ・モール**
子育て支援施設(保育園・学童保育所)
駅前であれば通勤時に送迎ができて便利

機能集約する 3つの施設

志津コミュニティセンター

- 介護機能**
志津北部地域包括支援センターの機能を集約
- 防音室(楽器・合唱練習)**
市民の需要は高い 現状は利用率の低い調理室などを借りて合唱練習している
- ホームシアター**
大人も子供も関係なく使える場所

- 今ある公共施設に気軽に「集まれる場」の機能を付加する。
- 小学校の余裕教室を活用する。
- 小学校で行われている市民スポーツクラブが活動は、年齢を問わず楽しめるレクリエーションの拠点であり、健康増進の拠点にないえる。特に卓球は老若男女楽しめる。
- 「健康増進の拠点」機能をゆくゆくは地域にたくさんある「集まれる場」にも付加していく。

リンクする志津へっ スマイルハッピー

志津南部地区 2班

- いしばし
 - おおくぼ
 - きのうち
 - わたなべ
- 千葉大学ファシリテーター
◆ たなか



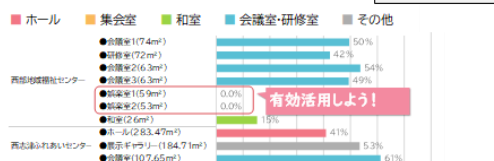
自分にとって大事な行動と場所

読書 図書館を利用することで多くの本を読めたり、貸し出しの品を返すことができる。 図書館	仕事 多くの施設が設置されており、色んな人と交流できる。 志津市民プラザ	イベント交流 月に1回開催されるイベントで、多くの交流や出会いがある。イベント後はボランティア活動も行っている。 中志津一号公園
仕事 イベントの企画を行うために活用している。 港口酒店	スポーツ 芝生(緑)があり、遊べる。 多目的公園	

地域の課題

利用者特性に応じた運営 障がい者が受容され、子供が多少騒いでも許容される図書館があるという。 図書館	子育てしやすいまちづくり 学童保育所は、通園徒歩あり、待機児童が多い。放課後に子供が遊べる場所が少ない。 学童等、公園	施設間の連携 学童と図書館が併設され、気軽に本を借りて読むことができるという。 貸し部屋
公共施設の配置 公共施設が半役所周辺に集中しており、志津地区からは距離(3駅)がある。 公共施設全般	有効活用 貸し部屋の存在を十分に知らなかったため、有効活用できていない。 西志津ふれあいセンター	情報共有 目的に応じて使いたい部屋を探すのに苦労している。 貸し部屋

● 市民が利用できる貸室の年間利用率



優先的に解決したい課題

- 大人も子どもも気軽に過ごせる場所が少ない。
- 部屋の空き状況はあまり知られてなく、使いたいときに目的に応じて利用できる部屋を探づらい。

コンセプト

子どもも大人も集まれて、気軽にコミュニケーションがとれる場所を作ろう!

解決の具体アイデア

■ 公共施設の機能

1. “魅力的な”フリースペース(無料)を様々な施設に設置
2. 市民の利用機会を増やすことで公共施設を知ってもらう。
3. 施設(機能)の複合化と施設間の連携を強化し、利便性を高める。

■ 公共施設の運用

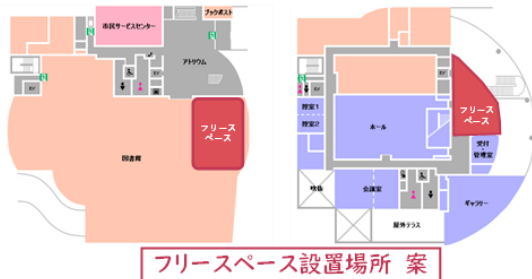
1. 施設がどのように使われているか見える形で示す(看板設置等)
2. HP上で貸しスペースを簡単に検索できるような仕組みを構築
3. 問合せした際、他の施設の情報や空き情報を教えてもらえる。

着目した施設



西志津ふれあいセンター

● 西志津ふれあいセンターの活用方法の提案



フリースペース設置場所 案

図書館から始まる まち(志津へ)の愛着

志津南部地区
3班

- おかじま
- やまがた
- ありま
- しらい
- おおもり

千葉大学ファシリテーター
◆ おおとも



自分にとって大事な行動と場所

集い

色々な人と交流できる場所。

志津図書館

学習・くつろぎ

好きな本を見つけたら、学習することができ、くつろげるスペースがある。

志津図書館

コミュニティ活動

様々な目的で活用している、利便性が高い。

志津図書館

自由度が高い

志津図書館

地域の課題

既存施設を有効活用できていない

志津図書館・西部保健センター

あるものをもっとつかう!

志津図書館

子どもの居場所が身近に少ない

子どもが遊べる屋内の場所が徒歩圏内にない。
子育てしやすい街にしたい。

志津児童センター・ルームさくら等



地域にとって大事なこと

図書館から始まるまち(志津)への愛着

コンセプト

コミュニティ活動の応援

ボランティアやコミュニティ活動を活発にできる

win-win

場の提供が欲しい

夜間利用で多世代交流

施設の利用時間延長

⇒人々の

出会う機会が増える

ランドマークになる図書館を通じて思い出が増えていく

解決の具体アイデア

「志津に愛着を持つ会」設立

- ・ 行政と市民混合
- ・ 小さくはじめる

企画段階で関係する人たち(行政課・団体等)が同じ熱量・レベルで話し合う

志津図書館の用途拡大・イベント開催

- ・ 施設の利用時間延長
- ・ 地下駐車場も活用
- ・ サービスセンターは廃止
- ・ 月1回イベント開催
 - ① 夜の 카페バー
 - ② アートイベント
 - ③ ローラースケート
 - ④ お化け屋敷
 - ⑤ 夜のライブ
 - ⑥ ファッションショー

財政的目線

- win-win
- 行政 利用料を徴収
- 市民 販売可能
- ・ 西部保健センターの機能を図書館や小学校に移転
 - ⇒削減した費用で
 - バス運行充実・イベント開催
 - ・ 指定管理者制度活用も検討

やすらぎ とつながり を育む みんなの場所

白井・千代田地区
1班

- きたお
 - やまもと
 - いう
 - まつばら
- 千葉大学ファシリテーター
◆ えのもと、おおしま



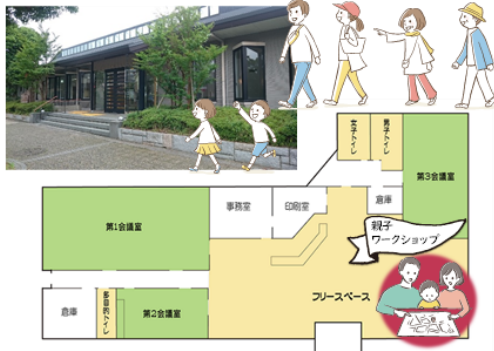
自分にとって大事な行動と場所

買い物 近くの七井戸公園で散歩 もてきる ヤオコー	音楽・絵画鑑賞、読書 音楽・鑑賞イベント、図書館、趣味のサークル活動など、色々な楽しみ方ができる 白井公民館、市民音楽ホール（佐倉ハーモニーホール）	買い物・くつろぎ 駅から近く、色々と揃っている便利。 ついでに3階の 公民館施設に立ち寄 ることも レイクピア うすい
仕事 職場 送迎の手配たちもたく さん利用 老幼の館	仕事 染井野 ファーマーズ マーケット 七井戸公園	買い物・くつろぎ 商業施設にあることで、 地区外・市外の人にも利用、 多く利用されている。 地域包括支援センター

地域の課題

施設が利用されていない 利用者が少ない ので、もっと種々 な用途で利用して は 千代田・染井野ふれあい センター	利用しにくい雰囲気 暗い、汚い、狭いなど の雰囲気で利用を躊躇してしま う 白井公民館図書室	施設が利用されていない 子どもが思いやり あふれる場所（施設） が少ない。 市内全域
施設が利用されていない クルマがないと 行けない 利用者が少ない 老人憩の家 千代田荘	「施設名」が時代に合っていない 「老人●●」「恵 愛人の家」など、名 前だけで利用に障 害がある人も 市内全域	施設の存在が知られていない 似たような施設が あっても、相互の案 内・紹介がないの で、利用が偏って いる 市内全域

千代田・染井野 ふれあいセンター



優先的に解決したい課題

- 需要はありそうなのに、市民にあまり利用されていない。
(考えられる主な要因)
- ✓ 施設の利用世代や利用用途が限定的なのでは
 - ✓ 施設名称の印象から、利用をためらう人もいるのでは
 - ✓ 外から見ても、開館（営業）しているのかわからず、入りにくい雰囲気なのでは

コンセプト

幅広い年代が利用しやすい施設に改善する

解決の具体アイデア

【着目した施設】 千代田・染井野ふれあいセンター

多世代利用、複合化・多機能化

子どもから高齢者まで全ての年代が様々な用途で親しめる、利用できる施設を目指す。名称も用途や機能の制限をイメージさせないものとする。

施設名の工夫

市民が利用したくなるような施設名に変更する、または愛称をつける。（お金をかけずに改善可能！）

平準化の工夫

「老幼の館」の利用率が高いので、千代田・染井野ふれあいセンターは児童も活用できる施設として周知し利用してもらう。

休憩・カフェスペース

ドリップコーヒーが飲める自販機が設置してあり、読書ができるなど大人が適度に落ち着けるスペースをつくる。

入しやすい雰囲気づくり

『入りやすさ』はとても重要。入口にポップなカラーの幟旗をたてる、入口を明るくする、看板を明るく見やすくするなどし、入しやすい雰囲気を演出する。

施設の広報

レイクピアみたいに人が集まるところで効果的に周知・PRする。

スペースの活用

フリースペースを使って、気軽に参加できる親子イベントを実施する。

小学生の足で行ける 地域のたまり場 をつくろう

白井・千代田地区
2班

- かねくに
 - なかじま
 - なかじま(ミ)
 - まなべ
- 千葉大学ファシリテーター
◆ ふじた



自分にとって大事な行動と場所

子どものつきそい 色んなことができる。 文化・交流の拠点 になっている。 新町地区一帯 (夢味くら館)	買い物・乳幼児の世話 生活に重要な拠点 レイクピアうすい	乳幼児の世話 いろいろな用途がある リフレッシュ・困らん。 プールのゴーゴー。 子育て 公園全般
家族だらん 行きたくなる。 院がきれい。 佐倉城址公園	乳幼児の世話 子育て中によく行く 老幼の館	

地域の課題

図書館が各学区から遠い 各学区から図書館 が遠すぎる。 千代田地区・ 市内全域図書館	活動できる場所探し 大変 地域活動をやりたい 人的人的資源は多い のに場所探しが大変 で、活かせていない。 市内全域	施設が「分りにくい」 施設の情報発信が 分りにくく利用者が 少ない。 子育て支援センター (レイクピア)
公共交通手段が少ない 子どもや高齢者で ない人は車を持た ない人が多かった ため、活用が できない。 市内全域	魅力的な場所のアピール 不足 子育て世帯の流入 を促すために必要 市内全域	相互扶助の仕組みが ほしい 近所との関わりが 減って、ちょっとした 水も分断されたり する場が少ない。 市内全域

地域の「たまり場」マップ



優先的に解決したい課題

- 車を使わない人や子どもにとって、公共施設へのアクセスと利便性が悪い。
- 佐倉市には人的資源(地域活動をやりたい人)はあるけど、活動できる場所がない。

コンセプト

各地域にたまり場をつくろう!

- 子どもだけでなく、地域みんなが集える拠点=「たまり場」をつくりたい

解決の具体アイデア

- 空白地帯になっている場所や、利用率の低い施設を活用する。
- 小学生の足で行ける範囲(小学校区)に地域のたまり場をつくる!
- 小中学校の空き教室も利用する。
- 将来的に統廃合することも視野に入れる

● 「たまり場」にほしい機能



誰もが自然につながり 集うコンパクトなまち

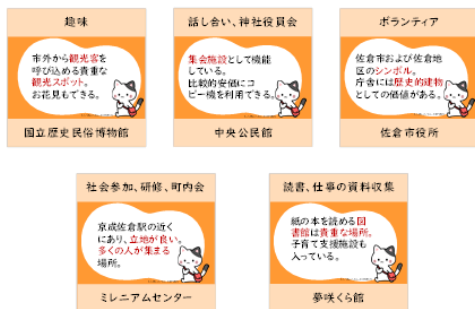
佐倉地区 1班

- いう
- うだがわ
- てらじま
- なりた
- やまだ

千葉大学ファシリテーター
◆ かつが ◆ にしうち



自分にとって大事な行動と場所



地域の課題



優先的に解決したい課題

- ・ 多世代が交流できる場が少ない
- ・ コミュニティの拠点になるような魅力のある場所(施設や公園)が少ない(魅力のない施設、日かげのない公園など)

コンセプト

点在している老朽化した施設の集約化

- ・ 佐倉地区は昔から多くの公共施設が整備されてきたため、施設が点在し、その多くが老朽化している。
- ⇒ 誰もがアクセスしやすい場所に集約化し、課題を解決!

解決の具体アイデア

1 地域の人が利用しやすい「小学校」に、周辺の老朽化した施設の機能をまとめて、複合施設に

- ・ 小学校の多くは、周辺地域の子供が歩いて通える場所にあり、地域の人にとっても利用しやすい場所。
- ・ 少子化で今後増える空き教室を放課後や週末に地域住民に開放したり、他の公共サービス機能(例えば公民館の集会機能)を移転して複合化する。

(さらにアイデア!)

- ・ 校庭に「巨大なサンシェード」を設置して夏季でも利用しやすい、学校プールを地域に開放する など

2 「ヤングプラザ」の機能を「ミレニアムセンター」に集約し、多世代交流の拠点に

青少年が気軽に集える場



ヤングプラザ【第53年】

地域のコミュニティ拠点



ミレニアムセンター【第24年】

(さらにアイデア!)

現在の観光案内所は、駅前の好立地を生かし、成田空港拡張で今後増加が見込まれるインバウンド向けの観光案内所として整備・充実を図る。

3 「市民体育館」の機能を「岩名運動公園」に集約し、総合的なスポーツ・レクリエーション拠点に再整備

大人から子供まで利用



市民体育館【第45年】
※令和5年度に全体的な改修を計画

総合的なスポーツ・レクリエーション拠点



岩名運動公園【第44年】

公共施設の活用を考える際の前提

移動弱者(高齢者、障がい者等)を取り残さないまちにする!
(コミュニティバスなどの移動支援サービスの充実等)



佐倉小学校への機能集約・複合化イメージ





歩いていける わたしの居場所

子どもからお年寄りまで～

**佐倉地区
2班**

- もりもと
- かつい
- みやた(け)
- かねこ
- いおはら
- くにみ

千葉大学ファシリテーター
◆ まきの ◆ かしわぎ

優先的に解決したい課題

- 高齢者・子どもが気軽に世代交流ができる施設が少ない

地域の課題

世代交流ができる施設が少ない

高齢者と子供が気軽に世代交流できる場が欲しい。

市内全般

バスの運行ルートが充実していない

山王地区等は高齢者が多いにもかかわらず、バスの運行が充実していない。

コミュニティバス全般

きっかけの不足

多世代交流をするきっかけ場所がない。

市内全般

子どもの居場所が少ない

いろんな遊び場がほしい。

市内全般

公共施設に駐車場が少ない

再施設は駐車場が無く、車で行くにしても停めない。

ミレニアムセンター
ヤングプラザ

解決の具体アイデア

既存施設に
付加したい機能

ミレニアムセンター佐倉

既に地域活動やサークルの拠点となっており、駅前という立地を活かしたい

子ども食堂

既存の調理室を活かす





ボールプール

停止している5階の浴場を活かしたあそび場

宿題をみてくれる場
子どもの居場所



多世代交流拠点 4つの施設

老幼の館

子どもと老人が集う拠点になっており、古民家のような雰囲気がある



子どもが教える場所

お年寄り向けの「スマホ使い方教室」など

宿題をみてくれる場
子どもの居場所

佐倉東小学校

屋外空間が広く、調理室がある

自然豊かな環境にあり、施設までの道のりも安全
屋外、屋内両方の遊びが楽しめる



昔あそび交流

こま、風ぐるまなどを教える場

学校になじまない子どもの居場所

屋外あそび場
豊かな自然を活かした屋外あそびBBQ



子どもとお年寄りの相互の教え合い

屋外あそび場
広い屋外空間を活かした外遊びBBQ



何をしても自由な場所
みんなが気持ちよくいられる場所

コミュニティバスルートで高齢者の外出支援

子どもの選択肢を増やすきっかけの場所

障がいのある子どもと大人の交流

新しい施設はいらない！ 今あるスペースにあそび場を！

佐倉地区
3班

- くどう
- たなか
- いのまた
- みやた
- おおすみ

千葉大学ファシリテーター
◆ やました



自分にとって大事な行動と場所

移動・通学

町内や通学に鉄道を利用することが多い。

京成佐倉駅・佐倉駅 (JR)

あそび場、居場所

こども (小・高・生) のあそび場、集まる場になっている。

ヤングプラザ

読書・学習・子育て

佐倉図書館で読書・勉強するのに利用。子育てで交流センターで、子どもと過ごすことも利用している。

夢味くらげ

花見・花火大会

様々な花が広がる風景を見たり、写真を撮るために訪れている。佐倉花火フェスタの会場でもある。

佐倉ふるさと広場

散歩・花見

自然が多く、散歩・花見を楽しんでいる。佐倉地区でこれほど大きい公園は他にない。

佐倉城址公園

地域の課題

施設の運用に改善の余地がある

小学生くらいの子供が泊まるスペースがない。自由に交流できるスペースも欲しい。

夢味くらげ

公民館などは事前に予約をする必要があり、気軽に利用できない。

新町おはやし館の利用率が低い。(多目的室も特定の人のしや使っていない。)

ミレニアムセンター佐倉の利用率が不十分

アクセスは良いが、どんなサービスが提供されているのかよく分からない。

ミレニアムセンター佐倉

施設の内容や存在意義が分からない。

施設の内容や開催されているイベントが良く分からない。

七井戸公園・佐倉新町おはやし館・印旛会館庁舎



優先的に解決したい課題

事前に予約する必要が無い
自由なあそびスペースが欲しい

コンセプト

第二のヤングプラザを求め

解決の具体アイデア

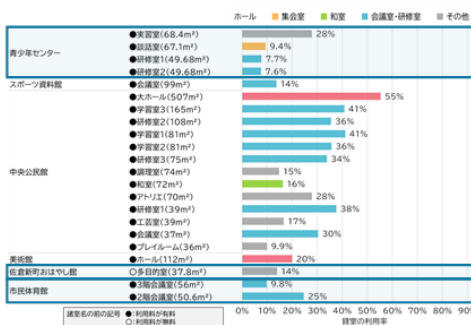
京成佐倉駅・JR佐倉駅の
どちらからも行きやすい あそび場 を作る

第二のヤングプラザ

- 市民体育館 に ヤングプラザ の機能を作る
⇒ 3階会議室・2階会議室の利用率が低い ⇒ 使う
- 他にも、佐倉新町おはやし館 や 内郷小学校に通う子ども向けに 青少年センター を活用する

駅の有効活用

- みんなの見える所に情報を掲載
- 情報が1つにあつまる (サイト/SNS/掲示板)





根郷・和田・弥富地区 1班

- たなか
 - こやなぎ
 - ながおか
 - あわや
 - かなざわ
- 千葉大学ファシリテーター
◆ いしばし ◆ こうだ
◆ エムジェイ ◆ たにくち



自分にとって大事な行動と場所

仕事

地域の生かしの場として働き、友達と遊びに行っている。

南部児童センター

いろんな人が集まる場所
大学生、高校生
子どもの遊び相手のボランティア

現状はないけど、あったら良い

多世代がつどえる処

2つの施設は隣接していて、佐倉南図書館は南郷中学校の図書室も兼ねている

根郷中学校・佐倉南図書館

地域の課題

限定されたネーミング

児童センターや保健センターなど、誰もが行きやすい名前になっていない

南部児童センター
南部保健センター

中高生の遊ぶ場所がない

遊ぶ場所があっても車がないと行けないので、千歳公園に歩いていくことが多い。

市内全域

年齢の方の来る目的がない

交流したくても空間やアクティビティが存在しない

南部保健センター

どんな施設があるかわからない

市内の公共施設についての周知が不足している。

市内全域

優先的に解決したい課題

- 根郷地区には多世代が交流できる場所、気軽に行ける場所がない。
- 南部保健福祉センターは限定されたネーミング（「児童センター」や「福祉センター」）で誰もが行きやすい施設になっていない。
ex) 「児童センター」で中学生も遊んでいる。

コンセプト

みんなが行きたくなる場所
うきうき・わくわくしよう！

解決の具体アイディア

- 1 南部保健福祉センターを、多世代に行きやすい機能を付加してもっと活用できるようにする。

■ 世代を超えたお茶会

■ 歴史を語る場

和室を活かして多世代が交流
マンガを寝転がって読む

■ イベントスペース

中庭の活用

■ マンガ棚

1・2階ホール壁面をまんが棚に！
マンガがあれば子どもたちが自然と集まる

■ グルメな場

調理室を活かして美味しいものを自分で作る

■ 披露する場

「出前講座」などで自分の得意を披露

■ ものづくり場

個人が実施する手作り体験、ワークショップ

■ Wi-fi作業場

多目的作業場
子どもの居場所
大人のリモートワーク

南部保健福祉センターB棟に付加したい機能

- 2 小学校や中学校を拠点にすれば多世代が集まりやすいので根郷中学校・佐倉南図書館に他の機能を付加し、将来的に多世代交流の拠点にする。

